

『清水の教育』原稿作成について

市教研事務局

『清水の教育』が、文字通り教育実践の手引きとして、より有効に利用できる冊子になるよう工夫、努力したいものです。素晴らしい実践はもちろんですが、うまくいかなかった事例の中に、失敗の中にこそ学ぶべきものがあり、参考にすべき点が発見できると考えます。失敗を綴るのは苦しいことですが、明日の清水の教育を、より確かなものにするために、恐れず、大胆に書いて下さい。学校は失敗するところです。失敗が許せない学校は、学校ではありません。そこには、訓練はあっても教育はないでしょう。

〈基本的な点で〉

①形式・表記

- * 形式にとらわれることなく、自由なスタイルで、各学校・各部会のエキスの部分をできるだけ具体的に掘り下げて書いて下さい。
- * 分かりやすく、具体的に、大胆な記述をお願いします。

②内容

- * 1年間の実践を全て漏らさず報告するというのではなく、主題にそって、ある一つのことを集中的に取り上げるなど、具体的な内容を書いて下さい。
- * ポイントとなるものだけを、例えば、一人の児童に絞り込むなど、各部会・各学校研究成果が分かるように工夫して書いて下さい。
- * 「いくらか成果が・・・」「それらしいものが・・・」「成果も少なくないが、課題も多い」などの記述は避けて下さい。その学校、その部会のメンバーには理解できるかもしれませんが、他の学校・部会の人には分からないと思われます。「いくらか」を具体的で客観的な、数字や方策で、「それらしい」の「それ」の部分を具体的な、教員の動きや子どもの変化で、「成果・・・、課題・・・」も、誰が読んでも分かるように、目に見えるように、何が成果か、どんな課題か、できるだけ具体的に書いて下さい。

〈具体的な点で〉

- * 原稿は、A 4 縦、横書き、4 4 字×3 6 行で、6 枚にまとめて下さい。(1 月末締切)
提出については原稿データをメール送信、または直接研究所まで提出して下さい。
- * 数字はアラビア数字をお願いします。5年生→5年生
- * 研究主題 とだけ1行目の左端から入力して下さい。
- * 研究主題は、5文字空白を空ける。「」、『』など何も付けない。 例：□□□□□研究主題
- * サブテーマは、7文字くらい空白を空け、— —で挟む。例：—サブテーマ—
- * 校名、部会名は4行目に、終わりの文字は右端に寄せる。
- * 文字・数字の大きさは10. 5 P 全角です。スタイルはMS明朝(標準)です。

